損失防止の『現下の對策』

資對立はまだ起らない、寧ろ、仲買機業家の關係が往年の『値入取引』時代に於てと仲買の態度に飽き足らずして起るべき性質のものである

因習の久しい舊組織を延長し來つたものであるから之に直に新しき空氣を吹き込み、一變化せしめんとするは、西陣を破壞するものと云ひ得る、漸くにして仲買との取引關係を改善し、機業家の立場を向上せしめたのが大なる進歩で、工場的組織は、さたく前途がある、斯樣な狀態に於て

勞働者の場合とは、大いに趣きを異にしてゐる、發達したと云ふ西陣織物會社すら斯の如し、一般の狀態は

來の業績に徴せば、利益にはなつてゐない、莫大な損失を切棄た結果、この配當を爲し得たもので、當該株主に取つては別に利益とは思へまい、加ふるに、この不況では、或は餘力を貯へて推移する必要上、無配當になるかも知れぬ、これは將來事を存續せんとする上には當然の覺悟であるが、かゝる場合從屬者が、悉く好況時代同樣の收入を欲し株主も亦之を要望するに於ては崩壞の運命より外はない、

儲けるよりも損失をせぬ方法を講ずるが必要』の時であるこの意味に於て、兩者の協調諒解

儲け得るも不況に於ては隨分慘めな境涯に陷る、隨つて機業家も亦之に隨伴する儲けがあつてこの損失に堪に、その埋合せも爲し得、愉快な事もある例へば西陣織物會社が前期に一割五分の配當をやつたと云ふけれども、出發以

下半期に至らばどうであるか現下の

時代に於ては、この

により對應し西陣の基調を失はざらんことを切に希望せざるを得ない云々

▲訂正 前回の第一項「前途に取り重要の時期」の末段に組連へがあつた、左の如くに付訂正す

この時に當り機業家と從業者乃至賃業者の間に疎隔を來す如き狀態のあるは返すがへすも遺憾至極な事である

よろしく相互は現下に處すべき適當の措置、自己一身以外モット大きな立場、西陣の將來若しくは產業的立場より大觀して理解し合つて提携を望みたいのである

解雇された十五名

19 11.7 佐竹部長と會見

飽く迄其の不當を攻む

遂に要領を得ず打切り

大阪市電の西部交通勞働組合の幹部十五名が十七日突如解雇されたが中川智味外十四名は今回の解雇理由を明白にする必要があるので目下來阪中の東京交通勞働組合の中西俱之助氏と共に十八日正午九條の

電鐵部 に佐竹部長を訪問し零時十五分から部長室で兩者會見の幕が開かれた勞働佐竹部長は

「自分の就任以來就業員の福利增進に就いては充分盡してゐる心算である」

と說明して氏に對する就業員側の中川氏は

幾ら當局が甘い事を云つても信じられぬとやり出したのをキッカケに部長の二枚舌だとか我々は今迄隱忍自重して來たのだ

と就業員は次第に昂奮し來り愈愈問題の中心に入るや佐竹部長は例によつて

諸君が正服正帽で自動車に乘りビラを撒いたのは不可ぬ

この一點張りである處が就業員側から河內山、篠原、淺野、上

題は解決出來るではないか然しか、る行き掛りは別するも諸君の今後の行動は誠に不穩當である

と氏に對する就業員側

の中川氏は

幾ら當局が甘い事を云つても信じられぬとやり出したのをキッカケに部長の二枚舌だとか我々は今迄隱忍自重して來たのだ

と就業員は次第に昂奮し來り愈愈問題の中心に入るや佐竹部長は例によつて

諸君が正服正帽で自動車に乘りビラを撒いたのは不可ぬ

この一點張りである處が就業員側から河內山、篠原、淺野、上

三營業所の職工

遂に今日罷業す

解職連と共に大演說會

出動職工は外出を禁ぜらる

大阪電燈會社職工中電業組合員である中之島營業所の五百人の半數、營業所の三百名の半數、天下茶屋營業所二百五十名の半數は十八日に至つて突然罷業をする事となつた先に解雇された職工一百名と共に十八日早朝市內筆ケ崎の電業組合本部に集まり午前十時から大阪電燈會社紀彈大演說會を開いた

大電側では昨夜來罷業を慮れて今朝出動した職工に對しては門を閉ざし警官の見張を行ひ一歩も外出出來ぬ樣にして居るが職工等は全然罷業を繼けて居る中之島支部の現業員中西長治岡田角五郎の兩名は過激な言動をなしたといふので今朝川口に於て禁ぜられた電業員組合幹部は日本勞働總同盟の幹部と共に今後の對策に就いて協議を重ねて居るが何れも千二百名の示威運動を某所で開いて大いに其氣勢を昂める筈である又今夜から

「我々は自動車にも乘らずに解雇されたのは如何」

とつめ寄り殊に上田氏の如きは

「私は病氣で寢てゐる處へ解雇が來た」

と憤慨してゐる

▲訂正 前回の第一項「前途に取り重要の時期」の末段に組連へがあつた、左の如くに付訂正す

この時に當り機業家と從業者乃至賃業者の間に疎隔を來す如き狀態のあるは返すがへすも遺憾至極な事である

よろしく相互

勞働組合論が繰り返され種々と接渉を重ねたが結局要領を得ず不滿を抱きながらも一時半會見を打切つた、尙運動に參加せず當の考慮を拂ふと決定した

解雇された四人は調査の上相

罷業斷行

電爭議團硬派を主唱する大

大阪聯合會にては臨時幹部會を開きこの解答の如何によつて多勢應援に赴くと謂ふ

目下罷業中である大電爭議團の硬派中から此際斷然罷業を行すべしとの聲が出たので昨日午前七時大阪電燈會社本部に集まる職員組合に協議會を開き筆ケ崎の罷業者は天下茶屋中之島高津等の各營業所及び營業所の硬派分子で此際結束を堅くして罷業を斷行しやうとの論漸く濃厚となつて來たがこれと同時に市內の各出張所に向

因之島遂に要求書提出

解答期は十八日

勞働總同盟大阪聯合會では十五日早朝から頻に飛報來りて非常に緊張してゐるが右は九日廣島縣因之島大阪電燈會社因之島分工場に派遣せる金正理事よりの電報で、大阪聯合會因之島支部八百名の職工は十四日支部職工大會を開き金正理事は會社側と再三會見せる狀況を述べ現在造船業界は前途を豫知し難い爲め會社は緊縮方針を採りつつあるから或は解雇しないこの聲言は出來ないが勞働組合所屬の職工なるが故に解雇するが如き無理解な事はしない」と報告し

その對策を協議した結果結束を堅めて會社に當るべく決し十五日午前七時解雇手當規約の制定失業不安に對する保證外數條の要求書を提出した

この解答期は十八日であるが組合以外の職工も續々加入してゐる大阪聯合會にては臨時幹部會を開きこの解答の如何によつて多勢應援に赴くと謂ふ

大電職工は依然怠業

總同盟の應援を待ちつゝ……

電業員組合所屬千二百名の大電職工は十五日も早朝より怠業を續け或は組合宣傳或は大電反對演說會等で各支部共氣勢を上げ示威運動をなし日本勞働總同盟の具體的應援を待つてゐる